

あなたの本棚



新しい本の中から

7月

『和菓子の京都』川端道喜/岩波書店/588.3 ㍿

室町時代から御所や茶人に餅や菓子を納めてきた御粽司・川端道喜。和菓子の源流、菓子作りの秘話や歳時記などを、35年前に15代道喜が綴った文章に、現在の代表が今日までの歩みを加えた増補版。和菓子の世界に触れつつ京都に出かけてみてはいかがでしょう。



『ゼロからの読書教室』
読書猿/NHK出版/019.1 ㍿

はじめから読まなくてもいい、いろんな速さで読んでいい、物語と距離を置いていい…。読書が苦手な人に向けて、読書にまつわる悩みの数々を解消する方法を、会話形式でやさしく紹介する。『基礎英語レベル1』連載を加筆修正。

『善の研究』

若松英輔/NHK出版/121.6 ㍿

東洋と西洋の思想を融合させた、西田幾多郎のデビュー作にして代表作「善の研究」を解説。善、純粹経験、実在など5つの鍵語を日常生活に落とし込み、哲学的実感を捉え直す。NHK番組テキストをもとに書き下ろしを追加。

『スピノザ』

加藤節/筑摩書房/135.2 ㍿

人間像と思想像において、際立つほど多面的に受け止められてきたスピノザ。従来のイメージにとらわれることなく、スピノザにおける倫理学と政治学、そして聖書批判の内的連関を見定め、その思想を統一的に描き出す。

『影の日本史にせまる』

嵐山光三郎/平凡社/210 ㍿

西行や連歌師たち、芭蕉はただの文学者ではなく、諜報活動家や戦争広告代理店としての顔も持っていた。平安時代から江戸時代に至る600年の歴史を「男色」「隠密」「見立て」のキーワードで読み解き、偉人たちの真実に迫る。

『神聖ローマ帝国全皇帝伝』

菊池良生/河出書房新社/234 ㍿

初代オットー大帝から、ラスト・エンペラーであるフランツ二世まで、神聖ローマ帝国は54人の皇帝およびドイツ王を生み出してきた。君主たちと、彼らを取り巻く人々がくり広げるドラマティックな歴史を紹介する。

『図説豊臣秀長』

河内将芳/戎光祥出版/289.1 ㍿

兄・豊臣秀吉との絆で天下取りを成し遂げた豊臣秀長。若い頃から戦場を駆け回り、秀吉に最も信頼された天下一の“懐刀”としての実像を、多数の図版とともに最新研究でひもとく。

『子どもは誰のものか?』

嘉田由紀子/文藝春秋/324.6 ㍿

“骨抜き”の共同親権しか実現し得ない日本。全国40人超の当事者との対話を通して浮かび上がったのは行き過ぎたフェミニズムがもたらした社会の歪み。子どもの幸せを第一に考えた、日本の家族の未来を展望する。

『ハイエク入門』

太子堂正称/筑摩書房/331.7 ㍿

20世紀に屹立する偉大な思想家F・ハイエクの多岐にわたる業績の全体像を整理し、現代思想の水脈に配置。その独創性に肉薄して、思想の輪郭を大きくえがく。

『移動と階級』

伊藤将人/講談社/361.8 ㍿

移動とは何か?なぜ、どんなふうに移動は不平等なのか?「移動格差」という言葉をキーワードに移動を問い直して、現代の移動の実態と、移動がつくる社会の姿を明らかにし、格差解消に向けた5つの観点と方策を示す。

『数学がゲームを動かす!』

三宅陽一郎/日本評論社/410.4 ㍿

ゲーム開発の最前線で活躍してきた著者たちが、デジタルゲームにおいて、数学がどのように活かされてきたのかを、実例や歴史とともに紹介。ゲーム開発者3人のインタビューも収録する。『数学セミナー』連載をもとに書籍化。

『ミクロの水泳教室』

石本健太/岩波書店/423.8 ㍿

ミクロの世界の生きものたちは、泳ぎの達人。ミクロの世界で泳ぐための流体力学を解説するとともに、微生物からマイクロロボットまで、「ミクロの遊泳」の秘密を探る。

『進化という迷宮』

千葉聡/講談社/467.5 ㍿

なぜ生き物は変わっていくのか?果てしない時の迷宮を舞台に「進化のパーツ」を探し求め、集めた「進化のパーツ」で、迷宮の隅に潜み進化を調律している不思議な存在にまつわる謎を解く。

『あるべきように』

対馬千賀子/朝日新聞出版/596 ㍿

お味噌汁、煮豆、目刺し、白菜漬け…。小さな頃に食べさせられたものが、結局は我が身を救ってくれる。料理家辰巳芳子と十数年にわたって生活を共にした内弟子が、100歳の健康長寿を叶えた辰巳の献立づくりと言葉を紹介。

『はちみつスイーツ』

若山曜子/家の光協会/596.6 ㍿

はちみつは、よりふくよかで深みのある甘さと味わいをお菓子にもたらししてくれます。かけるだけ・混ぜるだけの簡単スイーツや、はちみつと合う素材を使ったスイーツ、はちみつが主役のスイーツのレシピを紹介します。

『日本の「食」が危ない!』

中村桂子/幻冬舎/610.4 ㍿

米の値上がり、野菜の不作、漁獲量の激減…かつてない危機に直面している日本の「食」。その原因は、便利さを追求し、大量のエネルギーを消費してきたことにある…。持続可能な「食」と「農」を実現する人類の生き方を問う。

『はじめての猫』

石野孝[監修]/Gakken/645.7 ㍿

はじめて猫をおむかえするときに役立つお世話ガイド。お世話での「困った」解消に重点を置いて、体のお手入れ、病気・ケガなど、猫との生活に必要な実用情報を網羅。巻末に、猫を飼おううちのための防災ガイドブックも収録。

『ベルリン・フィル』

芝崎祐典/中央公論新社/764.3 ㍿

世界最高峰のオーケストラと称されるベルリン・フィルハーモニー。1882年の創設からナチ協力、冷戦後の革新まで解説。150年の裏面ドイツ史に耳をすまし、社会にとって音楽とは何かを問う。関連年表付き。

『自然に生きる』

辰野勇/KADOKAWA/786 ㍿

「自然の中に身を置くこと」で、本来身につけていたはずの「今を生きる力」を呼び戻すことができる。モンベル創業者にしてアウトドアの達人が、自然を満喫するキャンプの楽しみ方や、アウトドアで学んだことを紹介する。

『新しい法律ができた』

講談社[編]/講談社/913.68 ㍿

最初の1行は全員一緒。2行目からは予測不可能。「新しい法律ができた」という1行から始まる、25の物語を収録する。会員制読書クラブ「メフィストリーダーズクラブ」のサイトで公開された作品に加筆修正。

『人生の収穫』

曾野綾子/河出書房新社/914.6 ㍿

老いてこそ、人生は輝く。自分流に不器用に生き、失敗を楽しむ才覚を身につけ、老年だからこそ冒険し、どんなことでも面白い。世間の常識にとられない独創的な老後の生き方を提案する。

『「おくのほそ道」を読む』

長谷川權/筑摩書房/915.5 ㍿ 文庫

紀行文最高峰の「おくのほそ道」とはなにか。この旅で芭蕉が出遭った人生観、不易流行とかるみとは。全行程を追体験しながら、その深層を読み解く。現代語訳と曾良随日記を付した決定版。

『なぜとき赤毛のアン』

松本侑子/文藝春秋/933 ㍿ 文庫

なぜ赤毛を嫌うの?アンやダイアナの民族は?架空の地名に秘められた意味は?「赤毛のアン」の日本初の全文訳を手がけた著者が、物語の「なぜ」を解き明かす。プリンス・エドワード島の島図や写真も掲載する。

『乱歩と千畝』

青柳碧人/新潮社/F ㍿

巨匠・江戸川乱歩と、ユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。まだ何者でもなかったふたりは希望と不安を抱え、浅草の猥雑な路地を歩き語り合い…。斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。『yomyom』連載を単行本化。

『そんな部屋、あります!?!』

秋川滝美/講談社/F ㍿ 文庫

賃貸仲介部門に勤務する36歳の麻琴は、6年付き合う彼氏がいるが結婚の気配なし。仕事は充実しているけれど、わが身を考えることもしばしば。友人の居酒屋や、マスターの癖が強いバーで英気を養い、今日も物件紹介します!

『ヨシモトオノ』

吉本ばなな/文藝春秋/F ㍿

天井の木目に小さな顔があった。何度見ても顔だった。知らないおじさんの顔…。日常の中でふと見える世界の裂け目。怖く、美しく、心の中に小さな不思議と希望の光を灯す怪談を集めた、吉本ばなな版遠野物語。全13編を収録。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。

